

岡山自主夜間中学校の学習環境の充実および広報活動の推進

一般社団法人 岡山に夜間中学校をつくる会

活動の目的

様々な事情で十分に学ぶことができなかった方に対して、安心して学べる「学びの場」を提供する。他県の公立夜間中学の生徒さんとの交流を通して、お互いを励まし合い、集団活動などを体験する。また、通常の授業に加え、岡山自主夜間中学校の活動を広く知ってもらう機会を設け、学びの貧困によって生きづらさを感じている人が、一人でも減ることを目指す。岡山をはじめとして全国各地の公立夜間中学設置運動を推進する。

活動の内容及び経過

- ①年間を通しての活動としては、毎週土曜日の18時～21時に授業をおこなってきた。(第1・第3土曜日：西日本電子計算学院、第2・第4土曜日：岡山国際交流センター)
- ②9月26日に、全国夜間中学キャラバン「こんばんはII」上映会及びシンポジウムを西川アイプラザで開催。
- ③10月10日～11日に、国立吉備青少年自然の家での宿泊研修を実施。
- ④サテライト教室として、外国籍や外国につながるのある生徒さんを対象に、毎週木曜日18時～20時30分に京山公民館で授業をおこなってきた。

活動の成果・効果

- ①2019年度までは月2回の授業だったが、もっと学びたいという生徒達からの強い要望もあり、また教室確保もできたため毎週土曜日の授業が実現した。
- ②全都道府県において少なくとも1校の公立夜間中学設置を目指して制作されたドキュメント映画「こんばんはII」の「全国夜間中学キャラバン」として、岡山の上映会を実現すべく準備を進め、上映会では、前座として忌野清志郎のバンドメンバーだったギターパンダ（岡山出身のミュージシャン）によるライブが行われ、その後上映会をおこなった。参加者からは「非常に意義のある映画を見ることができた」「夜間中学の必要性を知ることができた」など、多くの感想が寄せられた。
- ③宿泊研修では、童謡「ふるさと」を英語で歌ったり、音階打楽器での合奏体験をしたり、夕食は薪割り体験や飯盒炊飯をおこなった。特別授業として、岡山大学大学院教育学研究科国吉康雄研究講座の才土真司准教授による美術の授業もおこなわれ、生徒さんたちは熱心に参加した。

今後の課題と問題点

生徒さんたちからの強い要望に応えるため、毎週土曜日の授業が実現したが、実現には無償での教室提供の協力が



シンポジウム



理科の実験の様子



アクティビティを通じての外国籍生徒さんへの日本語指導



算数の授業

得られたことが大きい。しかし、永続的に教室提供が得られるものではないため、毎週の授業を実施していくためには安定した教室確保が今後の運営を左右する大きな課題である。

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、持病を抱える生徒さんたちの中には学びたくても通えない生徒さんもいる。

- 代表者：城之内庸仁 ●所在地：岡山市北区南方
- TEL：090-2862-4400 ●E-MAIL：noby1009@gmail.com
- URL：https://www.okayama-yakanchu.com/
- 設立年：2017年 ●メンバー数：245名